

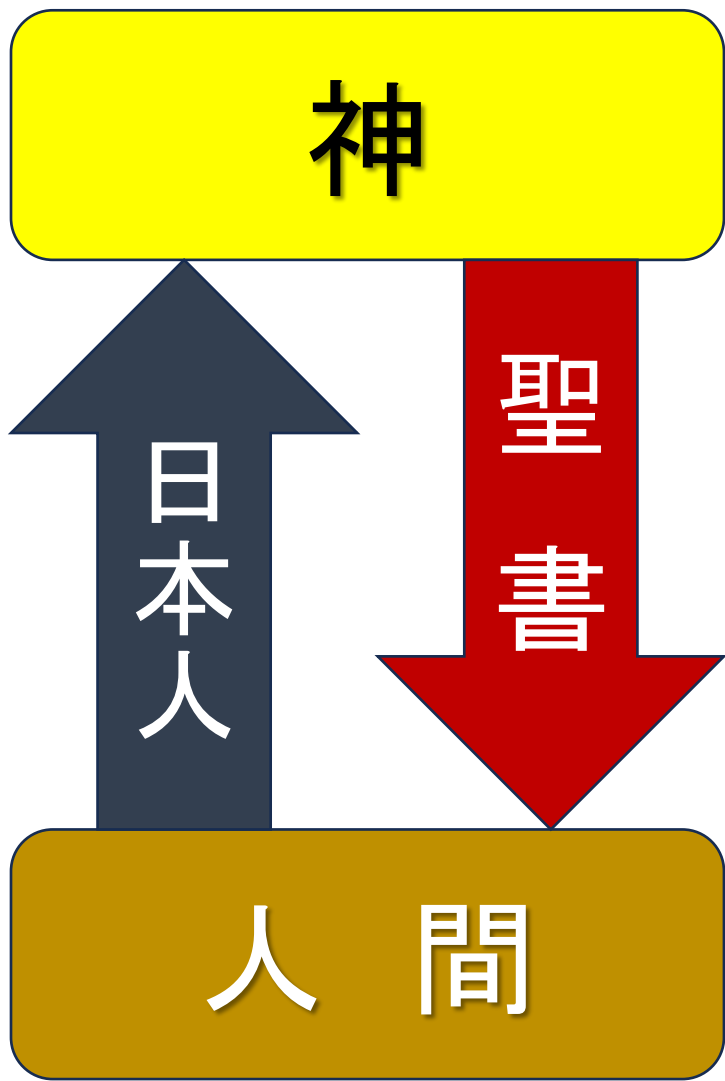
神は唯一である

シリーズ～さよならキリスト教～
2024/1/7 新年礼拝

「さよならキリスト教」の意味

- このまま行くと日本から「キリスト教」がなくなってしまう
 - 減少していくクリスチャン人口0.5%以下？
 - 減少していく教会(コロナの3年間で約1000の教会が閉鎖あるいは合併された:全体の1/7)
 - 高齢化(牧師の平均年齢が70歳を超えている)
- 聖書の真理を失われてはならない
 - この国に「キリスト教」が根付かなかった理由を考えることで、どうすれば聖書の真理を正しく伝えることができるか見出したい！

どちらから始めるか



人から始めるか、神から始めるか

• 人から神に向かう日本人

- 自分たちのために神を生み出し続ける
- 「困った時の神頼み」
- 神と人間が連続的につながっている
- 人のために神が存在する

• 神から人に向かう聖書

- 聖書の主語は「神」である
 - 「初めに、神は天地を創造された。」創世記1:1
- 神が人間を生み出し、人間に関わる
- 神のために人が存在する

神を主語にする

今年の聖句

神は、すべての人々が救われて真理を知るようになることを望んでおられます。神は唯一であり、神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとりなのです。この方はすべての人の贖いとして御自身を献げられました。これは定められた時になされた証しです。

テモテへの手紙—2章4～6節

神が望んでおられる事

- 「すべての人々」

- 誰一人神の目には例外はない

- 「すべての人々が救われて」

- 神の目には人間は救われなければならない

- 「真理を知るようになる」

- ① 「神は唯一であり」

- ② 「神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとり」

- 「この方はすべての人の贖いとして御自身を献げられました。これは定められた時になされた証しです。」

日本人が一番つまずく「唯一神観」

•キリスト教は「不寛容」である

- “自分の神だけが本物で、他の神々を認めないのは傲慢で不寛容だ”と日本人は言う
- 自分の神しか認めないから戦争をするのだ
 - 私たちもかつて天皇を神として戦争したことを忘れて
いる

•では日本人は「寛容」なのか？

- そもそも日本人は「唯一神観」である宗教(キリスト教・イスラム教・ユダヤ教)に対して「不寛容」である
- 「**日本教**」(山本七平)以外は受け入れない！

神は唯一でなければならない

- 万物の期限(出発点)は1つである
 - いろいろな所から始まっていたら混乱する
- 万物は統一したルールによって支配されている
 - アインシュタインの「相対性理論」=万物は光を基準に存在している
- 神は無限であるの
 - 無限は2つ存在しない
- 神は完全である
 - この世界は完全を起源としている

「多神教」の問題

- 多神教は結局は自分が神である
 - もし本当に唯一の創造主がおられたら、大変な罪を犯していることになる！
 - さよならキリスト教ではなくさよなら日本人になる
- 唯一神への恐れはないが「得体の知れないもの(死者の霊?)」を恐れている
 - それが先祖崇拝であり、因果応報思想である。
 - 統一教会になぜだまされ続けるのか
 - 実は統一教会だけではなくほとんどの信仰宗教は何らかの不安をあおって金集めをしている

さよならキリスト教

- 日本では「唯一神」は受け入れられないのか
 - 「この国は(すべてのものを腐らせていく)沼だ」
遠藤周作「沈黙」の台詞
- 過去に一度「唯一神」を受け入れようとした
 - 戦国時代: 40万人 / 1000万人 = 4%
 - 江戸幕府によって強力に弾圧された
- 衰えていく国を救う唯一の方法！
 - 世界一の借金国
 - 少子高齢化・人口減少 > 日本人がいなくなる
- 何より、日本人が唯一の神を知ることが、
神が望んでおられる